

ラグビー

土佐塾・金崎選手 候補に

高校日本代表トライ



スピードが持ち味の金崎選手
（高知市の土佐塾高校で）

日本ラグビーフットボール協会が実施するU18（18歳以下）人材発掘・育成ユースキャンプの参加メンバーに、土佐塾高校3年、FB金崎廉大朗選手（18）が選ばれた。高知の高校ラグビーは、県代表が全国選手権で毎年のように苦戦しており、決してレベルは高くない。それだけに今回の選出に、県内のラグビー関係者は「価値がある」と話す。金崎選手は「せっかくなつかなか大きなチャンス。（合宿では）持てる力を出し切り、高校日本代表の座をつかみたい」と意気込む。

（菊池真司）

ユースキャンプは、2019年に日本で初めて開催されるワールドカップ（W杯）に向けた強化活動の一つで、今年から始まった。全国から育成年代の有望選手約100人を招集。6月から来年3月まで数回に分けて合宿を行い、参加選手は高校日本代表候補となる。同高では、1999年にS日本村太一選手が代表候補合宿に選ばれたことがあり、金崎選手が2人目という。

友達に誘われて小学2年

1対1の場面では、全国レ

U18キャンプ 速さとステップで勝負

ベルの選手とやっても負けない」と自信を見せる。攻守の要として常にボールに絡み、パスも突破もこなす。中でも、トップスピードで駆け上がる味方が速度を落とさずに受けられるパスは絶妙だ。同高の西村保久監督（47）は「パスを受ける側がどう考え、どんなパスを求めているかをしっかり理解している」と、そのセンスを高く評価する。

昨年12月の全国選手権では、大会前の練習で左太ももを負傷。初戦の関商上（岐阜）戦は出場したものの、武器であるスピードを発揮できず、チームは敗退した。「10年間のラグビー人生で一番悔しい試合だった」と振り返る。だからこそ、きつい練習でも思う存分、ラグビーができる今は「毎日楽しい」という。

合宿への参加時期は未定だが、全国の強豪校からトップクラスの選手が集うだけに競争は厳しい。今回はFBだけでも、9人が選出されている。それでも、「高いレベルの中でも、自分の持ち味をしっかりと出して、存在感を発揮するだけ」と気負いはない。

目指すは高校日本代表、さらにはその上へ。まずは第一歩を踏み出す。